

鳥取市土砂災害特別警戒区域内住宅建替等事業 施工時の記録写真等について

補助の完了時に鳥取市へ提出する、工事記録写真及びコンクリート納入伝票の写し等
告示 383 号 第2一イの規定によるもの及び補助の基準によるもの

部位	撮影部位等	基準値	撮影（管理）方法の例
共通部分	コンクリート設計基準強度	18N/mm ² 以上 (1 ~ 3)(i)	受け入れ検査状況 納入伝票の写し（現場名または住所、打設部位が記載されていること） 打設時期が異なる場合はその都度
外壁	延長	補助対象の延長以上	完了後のく体出来形
	高さ	土砂災害防止法告示により 想定された高さ以上	完了後のく体出来形
	壁厚さ	15cm 以上 (1)()	片壁施工時点でのセパレーター長さ 完了後のく体出来形
	縦筋	1 m 当りの縦筋の断面積の 和が表 1 の数値以上 (1)()	縦筋の径とピッチ
	横筋	9mm 以上 @30cm 以下 (1)()	横筋の径 横筋のピッチ
	開口補強部 (原則吸排気口)	100cm ² 以下 12mm 以上の補強筋 (1)()	開口部の寸法 補強筋の径、定着長さ (L ₁ + 開口 + L ₁)
控壁	高さ	外壁以上 (2)()	完了後のく体出来形
	外壁に対する角度	外壁に垂直 (2)()	
	突出した長さ	表 2 の計算に用いた長さ	
	中心距離の間隔	4 m 以下 (2)()	完了後のく体出来形
	壁厚さ	15cm 以上 (2)()	片壁施工時点でのセパレーター長さ 完了後のく体出来形
	縦筋	外壁と接する端部及び隅部 の縦筋の断面積の和が表 2 の 数値以上 (2)()	縦筋の位置、径と本数
	縦横補強筋	9mm 以上 @30cm 以下 (2)()	縦、横補強筋の径 縦、横補強筋のピッチ
	開口補強部 (吸排気口に限る)	100cm ² 以下 12mm 以上の補強筋	開口部の寸法 補強筋の径、定着長さ (L ₁ + 開口 + L ₁)

		(2)()	
基礎	立上り（地中梁）の厚さ	20cm 以上 (3)()	片壁施工時点でのセパレーター長さ 埋め戻し前のく体出来形
	底盤の厚さ	30cm 以上 (3)()	型枠施工時の出来形 埋め戻し前のく体出来形
	根入れ深さ	60cm 以上 (3)()	型枠施工時の出来形 埋め戻し前のく体出来形
	立上り（地中梁）の補強筋	12mm 以上 @20cm 以下 (3)()	縦補強筋の径 縦補強筋のピッチ
	べた基礎の底盤縦横補強筋	12mm 以上 @15cm 以下 (3)()	縦、横補強筋の径 縦、横補強筋のピッチ
	布基礎の底盤の幅	60cm 以上 (3)()	型枠施工時の出来形 埋め戻し前のく体出来形
	布基礎の底盤補強筋	12mm 以上 1 m 当りの鉄筋の断面積の 和が表 3 の数値以上 (3)()	補強筋の径とピッチ
	開口補強部 (令 22 条によるもの)	300cm ² 以下 12mm 以上の補強筋 (3)()	開口部の寸法 補強筋の径、定着長さ ($L_1 + \text{開口} + L_1$) 鉄筋を切断した部分の両側も必要
その他	建物基礎との緊結	基礎立上り、底盤の鉄筋径以上で建物基礎に定着させること	補強筋の径とピッチ、定着長さ (L_2)
	鉄筋の定着長さ	十分な定着長さを得られること	継手の部分 (L_1)、定着の部分 (L_2)
	鉄筋のかぶり厚さ	十分な耐久性を得られること	土に接する部分 6 cm、それ以外 4 cm

基準値の () 書きは告示 383 号第 2 ーイの項目を示す。

鳥取市土砂災害特別警戒区域内住宅建替等事業 施工時の記録写真等について

補助の完了時に鳥取市へ提出する、工事記録写真及びコンクリート納入伝票の写し等
土砂災害防止法告示 332 号により想定される力により構造計算されたもの及び補助の基準によるもの

部位	撮影部位等	基準値	撮影(管理)方法の例
共通部分	コンクリート設計基準強度	18N/mm ² 以上	受け入れ検査状況 納入伝票の写し(現場名または住所、打設部位が記載されていること) 打設時期が異なる場合はその都度
擁壁	延長	補助対象の延長以上	完了後のく体出来形
	高さ	構造計算により決定された高さ以上	完了後のく体出来形
	根入れ	構造計算により決定された深さ以上	型枠施工時の出来形 埋め戻し前のく体出来形
	天端の幅	構造計算により決定された数値以上	型枠施工時の出来形 完了後のく体出来形
	下端の幅	構造計算により決定された数値以上	型枠施工時の出来形 埋め戻し前のく体出来形
	勾配(がけ側)	構造計算により決定された数値	完了後のく体出来形
	勾配(宅地側)	構造計算により決定された数値	完了後のく体出来形
	縦筋	構造計算により決定された数値以上 径 @	縦筋の径とピッチ
	横筋	構造計算により決定された数値以上 径 @	縦筋の径とピッチ
	水抜き穴	径 7.5cm 以上 3 m ² 毎に 1 か所	水抜き穴の寸法 透水層の施工状況
その他	落石防護柵高さ	構造計算により決定された数値以上	完了後の出来形
	落石防護柵根入れ	構造計算により決定された数値以上	型枠施工時の出来形 埋め戻し前のく体出来形
	鉄筋の定着長さ	十分な定着長さを得られること	継手の部分(L ₁)、定着の部分(L ₂)
	鉄筋のかぶり厚さ	十分な耐久性を得られること	土に接する部分 6cm、それ以外 4cm
既存擁壁の補強	接着面の目粗し	十分な接着性を得られるよう施工されていること	
	接着面の洗浄	十分な接着性を得られるよう施	

		工されていること	
--	--	----------	--

該当する項目について管理を行う。(該当しない部分は斜線で消去して使用する。)